

児童アンケート結果

実施日R3・7/12(月)

弁当作りの内容	(1)		(2)		(3)		(4)	
	自分だけで行った		大人と一緒にいった		兄弟姉妹だけでいった		親だけがいった	
	5年	6年	5年	6年	5年	6年	5年	6年
①献立を考える	6人	11人	19人	10人	0人	1人	1人	1人
	17人(35%)		29人(59%)		1人(2%)		2人(4%)	
②食材の準備	1人	0人	16人	15人	0人	1人	9人	7人
	1人(2%)		31人(63%)		1人(2%)		16(33%)	
③米を炊く	10人	5人	3人	4人	1人	2人	13人	11人
	15人(31%)		7人(14%)		3(6%)		24人(49%)	
④おかずを作る	7人	4人	12人	13人	1人	1人	6人	5人
	11人(22%)		25人(52%)		2人(4%)		11人(22%)	
⑤弁当箱に詰める	10人	9人	8人	10人	0人	1人	8人	3人
	19人(39%)		18人(37%)		1人(2%)		11人(22%)	
⑥後片付けをする	3人	4人	6人	5人	1人	1人	16人	13人
	7人(14%)		11人(22%)		2人(4%)		29人(60%)	

■趣旨:「子どもがつくる弁当の日」を、村を挙げて実践することで「食育の充実」や、弁当づくりをとおして家族と触れ合う機会を増やし「感謝の気持ちを育み」、子どもたちの「自立」を支援する。

■具体的行動目標 【幼児期】 食材や料理の名前が言える。

【考察】※アンケートの結果より、課題は「お米を炊く」ことです。

【小学校低学年】 一緒に買い物ができる。お箸が使える。

【小学校中学年】 自分で“おにぎり”を握ることができる。

【小学校高学年】 ごはんを炊いたり、みそ汁を作ることができる。

【中学校1・2年生】 栄養バランスを意識しながら、献立を考え、調理することができる。

【中学校3年生】 栄養バランスを考えながら献立をたて、調理、食事、後片付けが一人でできる。